

# 人間総合科学研究群(医学)

前期\_看護科学学位プログラム

後期\_看護科学学位プログラム

医学学位プログラム(医学を履修する博士課程)

修士\_フロンティア医科学学位プログラム

修士\_公衆衛生学学位プログラム

※ 選考方法を確認してください。

科目の申請にあたっては、開設授業科目一覧の「申請条件」欄にかかわらず、ホームページ掲載の「選考方法について」を参照し、選考方法、面接までの流れを確認してください。

出願前に必ず教育組織に連絡し、面接日時等を確認してください。

学位プログラム名	受入有無	選考方法	面接者	面接日時 (春学期)	面接日時 (秋学期)	留意事項	連絡先
フロンティア医科学学位プログラム (修士課程)	有	書類審査及び面接	授業担当教員	出願後1週間以内	出願後1週間以内	出願にあたっては、事前に学位プログラムリーダーの承諾を得ること (願書提出前に)	frontier@md.tsukuba.ac.jp
公衆衛生学学位プログラム (修士課程)	有	書類審査及び面接	授業担当教員	出願後1週間以内	出願後1週間以内	出願にあたっては、事前に学位プログラムリーダーの承諾を得ること (願書提出前に)	frontier@md.tsukuba.ac.jp
看護科学学位プログラム (博士前期課程)	有	書類審査及び面接	授業担当教員	出願後1週間以内	出願後1週間以内	出願にあたっては、事前に学位プログラムリーダーの承諾を得ること (願書提出前に)	029-853-3403
看護科学学位プログラム (博士後期課程)	有	書類審査及び面接	授業担当教員	出願後1週間以内	出願後1週間以内	出願にあたっては、事前に学位プログラムリーダーの承諾を得ること (願書提出前に)	029-853-3403
医学学位プログラム (医学を履修する博士課程)	有	書類審査及び面接	授業担当教員	出願後1週間以内	出願後1週間以内	出願にあたっては、事前に学位プログラムリーダーの承諾を得ること (願書提出前に)	029-853-5668

看護科学学位プログラム(博士前期課程)

専門基礎科目(看護科学学位プログラム前期)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATMB15	保健統計学	1	2.0	1	春A 春BC	金5,6 金5		山海 知子, 阿部 吉樹, 伊藤 智子	統計学の基礎の理解を深め、看護研究の中でも量的研究に求められる統計解析法の基本的内容を習得する。全20回で構成し、講義の前半10回を統計基礎として、推測統計学の基礎を学び、後半10回においては、量的研究を実施するために必要な知識の習得、実際にいられている統計手法を学び、統計分析ソフトウェアSPSSの使用方法について基礎的な演習を実施する。	対面		看護科学学位プログラム(博士前期課程)	
OATMB16	国際看護学	1	2.0	1	秋A	応談		安梅 勲江	国際的な視点からみた看護活動、人材育成、組織化、実施化を行うための、健康をめぐる世界動向と課題、国際機関及び国際協力の役割と展望を概観する。 異文化と多様性を科学的・論理的に分析・理解し、当事者主体の倫理に裏づけされたエンパワメント、ネットワークング、システム構築等を活用した看護実践方法、国際協力実践方法、国際比較研究方法を学ぶ。	対面		看護科学学位プログラム(博士前期課程)	
OATMB23	看護教育学	1	2.0	2	春BC	火3,4		岩田 裕子, 岡山 久代, 栗山 大賀, 浦水 理恵, 目 麻里子	看護専門職者として看護基礎教育にかかわる基盤となる力を養う。看護基礎教育に必要な学習理論、教授方法、教育評価に関する知識を教授する。	対面		看護科学学位プログラム(博士前期課程)	
OATMB27	生殖生命倫理学	1	2.0	1	春BC	金3,4		岩田 裕子, 岡山 久代, 水野 道代, 野口 恵美子, 山下 美智代	助産領域において生じる倫理的問題を理解するための知識について、総合的な講義と倫理的葛藤に関わる倫理的調整に必要な技能を養うために、事例を用いた討論を行う。	助産師課程専攻学生必修 対面		看護科学学位プログラム(博士前期課程)	

専門科目(看護科学学位プログラム前期)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATMC13	国際保健・地域看護学特論	1	2.0	1	春AB	木5,6		山海 知子, 安梅 勲江, 大宮 朋子, 浦水 理恵, 井坂 ゆかり	国際的な視野でのエンパワメント理論に基づく発達ケアの研究手法、実践技術を学ぶ。 国内外の住民を対象とした疫学研究成果を健康支援活動に展開するための疫学的研究方法や実践の事例を学ぶとともに、ヘルスプロモーションや精神看護学に関する理論や基幹概念を学び、患者や住民への健康支援について考察する。	対面		看護科学学位プログラム(博士前期課程)	
OATMC14	国際保健・地域看護学演習Ⅰ	1	2.0	1	秋ABC	応談	共同利用棟 B103 他	浦水 理恵, 安梅 勲江, 山海 知子, 大宮 朋子, 井坂 ゆかり	国際保健・看護学、公衆衛生看護学、ヘルスプロモーション、エンパワメント、家族看護学、精神看護学に関する文献クリティークを通じて、当該分野における研究課題や研究方法、研究結果を評価する意義と方法等について学ぶ。これらから自身の研究課題に則した研究デザインを検討するとともに、看護科学上の意義ある研究計画を作成する能力を修得する。	対面		看護科学学位プログラム(博士前期課程)	
OATMC15	国際保健・地域看護学演習Ⅱ	1	4.0	2	通年	応談		大宮 朋子, 安梅 勲江, 山海 知子, 浦水 理恵, 井坂 ゆかり	国際的な視点を踏まえ、公衆衛生看護学、疫学・保健学、ヘルスプロモーション、エンパワメント、家族看護学、精神看護学分野における最新の研究をキャッチアップしながら、自身の研究計画の遂行状況に関する討論を行う。当該領域に関する論文作成に向けた課題を明確にし、解決する能力を修得する。	対面		看護科学学位プログラム(博士前期課程)	
OATMC16	臨床実践看護学特論	1	2.0	1	春AB	応談		水野 道代, 柴山 大賀, 伊藤 智子, 目 麻里子, 阿部 吉樹, 工藤 理恵, 菅谷 智一, 山下 美智代	病を持つ人々の保健行動を理解するために必要な看護理論・基本概念をテーマとして討論を行い、専門的な臨床看護を行っていく上で基盤となる主要理論ならびにその活用について学ぶ。最新の研究をベースにがんや慢性疾患における臨床看護学に関する研究方法、実践技術を学ぶ。	対面		看護科学学位プログラム(博士前期課程)	
OATMC17	臨床実践看護学演習Ⅰ	1	2.0	1	秋ABC	応談		柴山 大賀, 水野 道代, 伊藤 智子, 目 麻里子, 阿部 吉樹, 工藤 理恵, 菅谷 智一, 山下 美智代	病を持つ人々の理解やケアにおける研究課題や研究方法、研究結果を評価する意義と方法等について、最新の研究結果から学ぶ。これらから自身の研究課題に則した研究デザインを検討するとともに、看護科学上の意義ある研究計画を作成する能力を修得する。	対面		看護科学学位プログラム(博士前期課程)	
OATMC18	臨床実践看護学演習Ⅱ	1	4.0	2	通年	応談		柴山 大賀, 水野 道代, 伊藤 智子, 目 麻里子, 阿部 吉樹, 工藤 理恵, 菅谷 智一, 山下 美智代	臨床実践看護学分野における最新の研究をキャッチアップしながら、自身の研究計画の遂行状況に関する討論を行う。当該領域に関する論文作成に向けた課題を明確にし、解決する能力を修得する。	対面		看護科学学位プログラム(博士前期課程)	

看護科学学位プログラム(博士後)看護科学学位プログラム(博士後期課程)

専門基礎科目(看護科学学位プログラム後期)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
0BTMB13	看護研究方法論	1	2.0	1	通年	応談		柴山 大賀, 安梅 勲江, 岡山 久代, 山海 知子, 水野 道代, 岩田 裕子, 大宮 朋子, 目 麻里子, 水野 智美, 満水 理恵, 伊藤 智子, 工藤 理恵, 菅谷 智一, Togoobaatar Ganchimeg, 井坂 ゆかり	講義と討論により、自立した研究者として看護科学の実践研究を企画・実施・評価するための研究方法論を教授する。	主専攻必修科目。対面			看護科学学位プログラム(博士後期課程)
0BTMB15	看護科学の基盤と原理	1	2.0	1	春AB	金1,2		柴山 大賀	看護科学研究における知の創造と活用のために、概念・理論、基盤となる哲学的背景、アカデミック・ライティング(研究計画書および学位論文の執筆、剽窃予防等)、看護科学者に求められるリーダーシップについて、課題やディスカッションを通して理解を深め、看護科学の発展課題について科学的に探究する。	主専攻必修科目。対面			看護科学学位プログラム(博士後期課程)

専門科目(看護科学学位プログラム後期)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
0BTMC11	看護科学特論	1	2.0	1	春ABC	応談		看護科学学位プログラムリーダー、山海 知子, 安梅 勲江, 岡山 久代, 柴山 大賀, 水野 道代, 岩田 裕子, 大宮 朋子, 目 麻里子, 水野 智美, 満水 理恵, 伊藤 智子, 工藤 理恵, 菅谷 智一, Togoobaatar Ganchimeg, 井坂 ゆかり	今後の看護科学の発展に向け、独創的で創造的な研究課題に取り組むために必要な知識と研究技法の実践について、看護科学のさまざまな専門分野の視点から教授する。	対面			看護科学学位プログラム(博士後期課程)

医学学位プログラム(医学を履修する博士課程)

基礎科目 (医学学位プログラム)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OBTNA03	医学セミナー		2	3.0	1・2	通年	応談	医学学位プログラムリーダー、医学学位プログラム教務委員長	学位プログラム担当教員または招聘する研究者による講演を受講し、質疑応答に参加する。そして、関連分野の原著論文を読み、その研究分野の背景、研究方法、および研究成果の特徴について理解する。加えて、今後の課題、医学研究における当該研究の意義について考察し、その内容について指導教員等と討論を行い、レポートを作成して理解を深める。これにより、医学の様々な分野について詳細に議論し応用力を磨く訓練を行うとともに、科学的文章に対する理解を深め、文章作成のための技術力向上に取り組む。	必修 対面(オンライン併用型)			医学学位プログラム(医学を履修する博士課程)

専門科目 (医学学位プログラム)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OBTNE11	分子医科学特論I		1	2.0	1・2	春ABC	応談	入江 賢児, 久武 幸司, 西村 健, 大林 典彦, 榎 正幸, 高橋 智, 武井 陽介, 小林 麻己人, 中村 幸夫, 林 洋平	生命現象の基本原理や疾患の病態生理について、分子レベル、細胞レベル、個体レベルでの解析で得られた最新の研究成果を発表の題材とし、研究内容に関する討論と総合的知識の講義を行う。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループを含め、複数のグループの授業に出席する。各グループのキーワードを以下に示す。I, IIでは異なるトピックスを扱う。また、自らの所属グループ以外のグループとして、I, IIでは異なるグループを選択することができる。 ・分子生物腫瘍学 (分子細胞生物学) ・分子生物腫瘍学 (遺伝子制御学) ・生理化学 ・分子神経生物学 ・解剖学・発生学 ・解剖学・神経科学 ・分子発生生物学 ・細胞工学 ・蛋白質代謝学				医学学位プログラム(医学を履修する博士課程)
OBTNE13	分子医科学特論II		1	2.0	1・2	秋ABC	応談	入江 賢児, 久武 幸司, 西村 健, 大林 典彦, 榎 正幸, 高橋 智, 武井 陽介, 小林 麻己人, 中村 幸夫, 林 洋平	生命現象の基本原理や疾患の病態生理について、分子レベル、細胞レベル、個体レベルでの解析で得られた最新の研究成果を発表の題材とし、研究内容に関する討論と総合的知識の講義を行う。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループを含め、複数のグループの授業に出席する。各グループのキーワードを以下に示す。I, IIでは異なるトピックスを扱う。また、自らの所属グループ以外のグループとして、I, IIでは異なるグループを選択することができる。 ・分子生物腫瘍学 (分子細胞生物学) ・分子生物腫瘍学 (遺伝子制御学) ・生理化学 ・分子神経生物学 ・解剖学・発生学 ・解剖学・神経科学 ・分子発生生物学 ・細胞工学 ・蛋白質代謝学				医学学位プログラム(医学を履修する博士課程)
OBTNE21	システム統御医学特論I		1	2.0	1・2	春ABC	応談	森川 一也, 加藤 光保, 松原 大祐, 水野 聖哉, 渋谷 和子, 大根田 修三好, 浩松, 川口 敦史, Ho Kiong, 小金澤 植史, 熊田 博明, 柳沢 裕美, 木村 健一, 山崎 聡, 広川 貴次	ヒトの生命現象の制御機構や疾患の病理発生機序について、分子生物学的なアプローチを基盤として、個体、細胞レベルで理解することを目指した研究を行い、自らの最新の研究成果を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、システム統御医学の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループを含め、複数のグループの授業に出席する。各グループのキーワードを以下に示す。I, IIでは異なるトピックスを扱う。また、自らの所属グループ以外のグループとして、I, IIでは異なるグループを選択することができる。 ・感染生物学(細菌学、分子ウイルス学、分子寄生虫学) ・実験病理学 ・モデル動物学 ・診断病理学 ・免疫制御医学 ・再生幹細胞生物学 ・医工学 ・神経生理学 ・医学物理学 ・血管マトリクス生物学 ・幹細胞治療学 ・計算創薬				医学学位プログラム(医学を履修する博士課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OBTNE23	システム統御医学特論II	1	2.0	1・2	秋ABC	応談		森川 一也, 加藤光保, 松原 大祐, 水野 聖哉, 渋谷和子, 大根田 修, 三好 浩稔, 川口敦史, Ho Kiong, 小金澤 禎史, 熊田 博明, 柳沢 裕美, 木村 健一, 山崎 聡, 広川 貴次	ヒトの生命現象の制御機構や疾患の病理発生機序について、分子生物学的なアプローチを基盤として、個体、細胞レベルで理解することを目指した研究を行い、自らの最新の研究成果を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、システム統御医学の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループを含め、複数のグループの授業に出席する。各グループのキーワードを以下に示す。 I, IIでは異なるトピックスを扱う。また、自らの所属グループ以外のグループとして、I, IIで異なるグループを選択することができる。 ・感染生物学(細菌学、分子ウイルス学、分子寄生病学) ・実験病理学 ・モデル動物学 ・診断病理学 ・免疫制御医学 ・再生幹細胞生物学 ・医工学 ・神経生理学 ・医学物理学 ・血管マトリクス生物学 ・幹細胞治療学 ・計算創薬				医学学位プログラム(医学を履修する博士課程)
OBTNE31	ゲノム環境医学特論I	1	2.0	1・2	春ABC	応談		野口 恵美子, 村谷 匡史, 松崎 一葉, 尾崎 遼, 大庭良介, 高橋 遥一郎, 安梅 勳江, 狩野 繁之, 高橋 宜聖	疾病要因としての遺伝要因、環境要因およびそれらの相互作用、生体の環境適応とその医学的意義に関連する自らの最新の研究成果を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、ゲノム環境医学の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループを含め、複数のグループの授業に出席する。I, IIでは異なるトピックスを扱う。また、自らの所属グループ以外のグループとして、I, IIで異なるグループを選択することができる。 ・遺伝医学 ・ゲノム生物学 ・バイオインフォマティクス ・環境医学(産業精神医学・宇宙医学) ・健康情報総合学 ・法医学 ・国際発達ケア:エンパワメント科学 ・国際医療学 ・医学ウイルス学				医学学位プログラム(医学を履修する博士課程)
OBTNE33	ゲノム環境医学特論II	1	2.0	1・2	秋ABC	応談		野口 恵美子, 村谷 匡史, 松崎 一葉, 尾崎 遼, 大庭良介, 高橋 遥一郎, 安梅 勳江, 狩野 繁之, 高橋 宜聖	疾病要因としての遺伝要因、環境要因およびそれらの相互作用、生体の環境適応とその医学的意義に関連する自らの最新の研究成果を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、ゲノム環境医学の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループを含め、複数のグループの授業に出席する。I, IIでは異なるトピックスを扱う。また、自らの所属グループ以外のグループとして、I, IIで異なるグループを選択することができる。 ・遺伝医学 ・ゲノム生物学 ・バイオインフォマティクス ・環境医学(産業精神医学・宇宙医学) ・健康情報総合学 ・法医学 ・国際発達ケア:エンパワメント科学 ・国際医療学 ・医学ウイルス学				医学学位プログラム(医学を履修する博士課程)
OBTNE41	睡眠医学特論I	1	2.0	1・2	春ABC	応談		柳沢 正史, 櫻井武, 平野 有沙, 征矢 晋吾, 谷村 憲樹, 齊藤 毅, 坂口昌徳, Lazarus Michael, 大石 陽, Vogt Kaspar, 本城 咲季子, 櫻井 勝康, 戸田 浩史, 史 蕭逸, 阿部 高志	睡眠覚醒の謎の解明、睡眠障害治療への新しいアプローチを目指した研究についての最新の研究成果を発表の題材とし、研究内容に関する討論と総合的知識の講義を行う。履修学生自身の研究グループを含め、複数のグループの授業に出席する。各グループのキーワードを以下に示す。I, IIでは異なるトピックスを扱う。また、自らの所属グループ以外のグループとして、I, IIで異なるグループを選択することができる。 ・睡眠制御の分子機構 ・医薬品化合物のデザインと合成 ・睡眠中の脳の可塑性とその応用 ・睡眠におけるグリア/神経相互作用 ・睡眠覚醒の神経回路 ・中枢神経回路の構成と睡眠の機能 ・睡眠・覚醒を制御する神経回路 ・睡眠覚醒サイクルを通じた神経活動ダイナミクス ・感覚システムと本能行動の神経基盤 ・キロシノンジョウバエを用いた睡眠制御の分子遺伝学 ・比較神経科学的に睡眠の保存性と多様性を理解する ・睡眠不足による神経行動学的影響 など				医学学位プログラム(医学を履修する博士課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OBTNE43	睡眠医学特論I	1	2.0	1・2	秋ABC	応談		柳沢 正史, 櫻井武, 平野 有沙, 征矢 晋吾, 岩村 憲樹, 齊藤 毅, 坂口 昌徳, Lazarus Michael, 大石 陽, Vogt Kaspar, 本城 咲季子, 櫻井 勝康, 戸田 浩史, 史 薫造, 阿部 高志	睡眠覚醒の謎の解明、睡眠障害治療への新しいアプローチを目指した研究についての最新の研究成果を発表の題材とし、研究内容に関する討論と総合的知識の講義を行う。履修学生自身の研究グループを含め、複数のグループの授業に出席する。各グループのキーワードを以下に示す。I, IIでは異なるトピックスを扱う。また、自らの所属グループ以外のグループとして、I, IIで異なるグループを選択することができる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>睡眠制御の分子機構</li> <li>医薬品化合物のデザインと合成</li> <li>睡眠中の脳の可塑性とその応用</li> <li>睡眠におけるグリア/神経相互作用</li> <li>睡眠覚醒の神経回路</li> <li>中枢神経回路の構成と睡眠の機能</li> <li>睡眠・冬眠を制御する神経回路</li> <li>睡眠覚醒サイクルを通じた神経活動ダイナミクス</li> <li>感覚システムと本能行動の神経基盤</li> <li>キロシヨウジョウバエを用いた睡眠制御の分子遺伝学</li> <li>比較神経科学的に睡眠の保存性と多様性を理解する</li> <li>睡眠不足による神経行動学的影響 など</li> </ul>				医学学位プログラム (医学を履修する博士課程)
OBTNE51	臨床病態解明学特論I	1	2.0	1・2	春ABC	応談		中島 崇仁, 櫻井英幸, 磯辺 智範, 佐藤 晋爾, 新井 哲明, 太刀川 弘和, 井上 貴昭, 本間 真人, 前野 哲博, 横谷 省治, 木澤 善之, 我妻 ゆき子, 五所 正彦, 橋本 幸一, 宮本 憲優, 久野 敦, 須丸 公雄, 館野 浩章, 新井 洋由, 佐藤 淳子, 大津 敦, 奈良岡 準	臨床病態解明に関する諸分野において、学生は自らの最新の研究内容を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、それぞれの分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループに加えて、複数のグループの授業に出席することを推奨する。I, IIでは異なるトピックスを扱う <ul style="list-style-type: none"> <li>放射線診断学</li> <li>放射線腫瘍学</li> <li>放射線健康リスク科学</li> <li>精神医学</li> <li>災害・地域精神医学</li> <li>麻酔・蘇生学</li> <li>救急・集中治療医学</li> <li>臨床薬理学</li> <li>地域医療教育</li> <li>臨床試験・臨床疫学</li> <li>生物統計学</li> <li>橋渡し・臨床研究学</li> <li>臨床研究地域イノベーション学</li> <li>細胞分子工学</li> <li>分子創薬学</li> <li>医薬品・医療機器評価科学</li> <li>臨床腫瘍学</li> <li>創薬トランスレーショナルサイエンス</li> </ul>				医学学位プログラム (医学を履修する博士課程)
OBTNE53	臨床病態解明学特論II	1	2.0	1・2	秋ABC	応談		中島 崇仁, 櫻井英幸, 磯辺 智範, 佐藤 晋爾, 新井 哲明, 太刀川 弘和, 井上 貴昭, 本間 真人, 前野 哲博, 横谷 省治, 木澤 善之, 我妻 ゆき子, 五所 正彦, 橋本 幸一, 宮本 憲優, 久野 敦, 須丸 公雄, 館野 浩章, 新井 洋由, 佐藤 淳子, 大津 敦, 奈良岡 準	臨床病態解明に関する諸分野において、学生は自らの最新の研究内容を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、それぞれの分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループに加えて、複数のグループの授業に出席することを推奨する。I, IIでは異なるトピックスを扱う <ul style="list-style-type: none"> <li>放射線診断学</li> <li>放射線腫瘍学</li> <li>放射線健康リスク科学</li> <li>精神医学</li> <li>災害・地域精神医学</li> <li>麻酔・蘇生学</li> <li>救急・集中治療医学</li> <li>臨床薬理学</li> <li>地域医療教育</li> <li>臨床試験・臨床疫学</li> <li>生物統計学</li> <li>橋渡し・臨床研究学</li> <li>臨床研究地域イノベーション学</li> <li>細胞分子工学</li> <li>分子創薬学</li> <li>医薬品・医療機器評価科学</li> <li>臨床腫瘍学</li> <li>創薬トランスレーショナルサイエンス</li> </ul>				医学学位プログラム (医学を履修する博士課程)
OBTNE61	臨床外科学特論I	1	2.0	1・2	春ABC	応談		西山 博之, 小田 竜也, 平松 祐司, 鈴木 保之, 佐藤 幸夫, 市村 秀夫, 増本 幸二, 関堂 充, 原 尚人, 佐藤 豊実, 濱田 洋実, 石川 栄一, 松丸 祐司, 大庭 哲郎, 田淵 経司, 武川 寛樹, 柳川 徹, 羽田 康司	臨床外科学に関する諸分野において、学生は自らの最新の研究内容を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、それぞれの分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループに加えて、複数のグループの授業に出席することを推奨する。各研究グループのキーワードは以下の通りである。特論Iでは主として各領域の基礎的側面に焦点を当てる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>腎泌尿器外科学</li> <li>消化器外科学</li> <li>心血管外科学</li> <li>整形外科学</li> <li>呼吸器外科学</li> <li>小児外科学</li> <li>形成外科学</li> <li>乳腺内分泌外科学</li> <li>婦人周産期医学</li> <li>脳神経外科学</li> <li>眼科学</li> <li>耳鼻咽喉科頭頸部外科学顎口腔外科学</li> <li>リハビリテーション医学</li> </ul>				医学学位プログラム (医学を履修する博士課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OBTNE63	臨床外科学特論II	1	2.0	1・2	秋ABC	応談		西山 博之, 小田 竜也, 平松 祐司, 鈴木 保之, 佐藤 幸夫, 市村 秀夫, 増本 幸二, 関堂 充, 原 尚人, 佐藤 豊実, 濱田 洋実, 石川 栄一, 松丸 祐司, 大庭 哲郎, 田淵 経司, 武川 寛樹, 柳川 徹, 羽田 康司	臨床外科学に関する諸分野において、学生は自らの最新の研究内容を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、それぞれの分野の重要な課題に関する議論を行う。 授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループに加えて、複数のグループの授業に出席することを推奨する。各研究グループのキーワードは以下の通りである。特論IIでは主として各領域の臨床応用に焦点を当てる。 ・腎臓泌尿器外科学 ・消化器外科学 ・心臓血管外科学 ・整形外科 ・呼吸器外科学 ・小児外科学 ・形成外科学 ・乳腺内分科外科学 ・婦人産科医学 ・脳神経外科学 ・眼科学 ・耳鼻咽喉科頭頸部外科学顎口腔外科学 ・リハビリテーション医学				医学学位プログラム (医学を履修する博士課程)
OBTNE71	臨床内科学特論I	1	2.0	1・2	春ABC	応談		乃村 俊史, 坂田 (柳元) 麻実子, 小原 直, 土屋 輝一郎, 檜澤 伸之, 山縣 邦弘, 松本 功, 島野 仁, 野牛 宏晃, 松坂 賢, 川上 康, 高田 英俊, 関根 郁夫, 人見 重美, 鈴木 広道, 大原 信, 竹越 一博, 金子 新, 齊木 臣二	臨床内科学について、学生は自らの最新の研究成果を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、内科学分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループに加えて、複数のグループの授業に出席することを推奨する。各グループのキーワードを以下に列挙する。I, IIでは異なるトピックスを扱う。 ・血液内科学 ・消化器内科学 ・循環器内科学 ・呼吸器内科学 ・神経内科学 ・腎臓内科学 ・膠原病内科学 ・代謝・内分泌内科学 ・臨床検査学 ・皮膚科 ・小児科学 ・感染症内科学 ・臨床腫瘍学 ・医療情報マネジメント学 ・スポーツ医学 ・がん免疫治療学				医学学位プログラム (医学を履修する博士課程)
OBTNE73	臨床内科学特論II	1	2.0	1・2	秋ABC	応談		乃村 俊史, 坂田 (柳元) 麻実子, 小原 直, 土屋 輝一郎, 檜澤 伸之, 山縣 邦弘, 松本 功, 島野 仁, 野牛 宏晃, 松坂 賢, 川上 康, 関根 郁夫, 高田 英俊, 人見 重美, 鈴木 広道, 大原 信, 竹越 一博, 金子 新, 齊木 臣二	臨床内科学について、学生は自らの最新の研究成果を発表し、研究結果と今後の研究方針に関する討論を行うとともに、内科学分野の重要な課題に関する議論を行う。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループに加えて、複数のグループの授業に出席することを推奨する。各グループのキーワードを以下に列挙する。I, IIでは異なるトピックスを扱う。 ・血液内科学 ・消化器内科学 ・循環器内科学 ・呼吸器内科学 ・神経内科学 ・腎臓内科学 ・膠原病内科学 ・代謝・内分泌内科学 ・臨床検査学 ・皮膚科 ・小児科学 ・感染症内科学 ・臨床腫瘍学 ・医療情報マネジメント学 ・スポーツ医学 ・がん免疫治療学				医学学位プログラム (医学を履修する博士課程)
OBTNE81	社会医学特論I	1	2.0	1・2	春ABC	応談		田宮 菜奈子, 近藤 正英	社会医学研究における基本概念、知識および技術を修得し、その成果を相互発表・質疑応答に対応することにより、修得の程度を確認する。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループに加えて、複数のグループの授業に出席することを推奨する。I, IIでは異なるトピックスを扱う。 ・ヘルスサービスリサーチ ・保健医療政策学・医療経済学				医学学位プログラム (医学を履修する博士課程)
OBTNE83	社会医学特論II	1	2.0	1・2	秋ABC	応談		田宮 菜奈子, 近藤 正英	社会医学研究における基本概念、知識および技術を修得し、その成果を相互発表・質疑応答に対応することにより、修得の程度を確認する。授業は研究グループ単位で行い、学生は自らが研究指導を受ける研究グループに加えて、複数のグループの授業に出席することを推奨する。I, IIでは異なるトピックスを扱う。 ・ヘルスサービスリサーチ ・保健医療政策学・医療経済学				医学学位プログラム (医学を履修する博士課程)



フロンティア医科学学位プログラム(修士課程)

基礎科目(フロンティア医科学関連科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATGA11	人体構造学概論	1	2.0	1	春AB	水1,2		濱田 理人, 武井 陽介, 佐々木 哲也	目標: 人体を構成する各器官の構造について、構成する細胞と組織を含めて理解する。人体を構成する器官(運動器、神経系、感覚器、内分泌系、循環系、呼吸器系、消化器系、泌尿生殖器系)の特徴について機能と関連づけて論じることができる。	オンライン(オンデマンド型)			フロンティア医科学学位プログラム(修士課程)
OATGA16	医学英語I	1	1.0	1	春A 春B	月2	4F204, 4F305	宮増 フラミニア, メイヤーズ トーマス, デイヴィッド, コスミン, ミハイル, フロレスク	英語を用いた国際的な科学コミュニケーションスキルを習得し、他の科学者と知識や考えを共有できる英語能力を身に付ける。講義はすべて英語で行うためリスニング能力の向上も図る。本コースは4つのモジュールから成る。 (1) 科学コミュニケーションの基礎 (2) 記述 (3) プレゼンテーション (4) マルチメディアコミュニケーション	英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)			フロンティア医科学学位プログラム(修士課程)
OATGA17	医学英語II	1	1.0	1	秋A 秋B	月5	4F204, 4F305	宮増 フラミニア, メイヤーズ トーマス, デイヴィッド, コスミン, ミハイル, フロレスク	英語を用いて他の科学者へ自身の意見を伝え、双方向性のコミュニケーション(ディスカッション)ができる英語能力を身に付ける。医学英語IIでは特に医学分野に特化した表現技法の習得を目的とする。講義はすべて英語で行うため、リスニング能力の向上も図る。本コースは4つのモジュールから成る。 (1) 医学分野における科学コミュニケーションの基礎 (2) 記述 (scientific writing) (3) プレゼンテーション (scientific presentation) (4) マルチメディアコミュニケーション	OAVC013と同一。 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)			フロンティア医科学学位プログラム(修士課程)
OATGA28	生化学特論	1	1.0	1	春AB	月1	4F204	福田 綾, 入江 賢児, 久武 幸司, 水野 智亮, 梶 和子, 岡田 拓也	DNAの複製、転写、翻訳および代謝、細胞周期、細胞シグナル伝達などの分子基盤について学習する。 目標: 人体機能の分子メカニズムについて論じることができる。 本コースはオンラインで行う。詳細は受講者に後日連絡する。 1. DNA, RNA, 核酸代謝、染色体、ゲノム、2. DNAの複製、修復、組換え、3. 転写と遺伝子発現調節、4. 翻訳の機構と調節、5. 代謝 I (糖代謝)、6. 代謝 II (TCA サイクル、電子伝達系)、7. 代謝 III (脂質代謝)、8. 代謝 IV (アミノ酸代謝)、9. 細胞周期、10. 細胞内シグナル伝達	(英) OBT111と同一。 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)			フロンティア医科学学位プログラム(修士課程)
OATGA32	医科学セミナーII(生化学、分子生物学)	1	1.0	1・2	通年	応談		入江 賢児	生化学、分子生物学の分野で活躍する第一線の研究者が行う最新のトピックスに関する講義に参加し、研究の最新線を知るとともに、生化学、分子生物学の最新の研究成果について、自分自身の研究分野との関連で議論する。 トピック: 代謝、DNA複製、転写、翻訳、遺伝子発現制御、細胞周期、アポトーシス、がん	対面(オンライン併用型)			フロンティア医科学学位プログラム(修士課程)
OATGA35	医科学セミナーVII(臨床研究セミナー)	1	1.0	1・2	通年	応談		橋本 幸一	臨床研究の倫理・専門職研修に出席し、GCP (Good Clinical Practice)、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針、臨床研究実施体制などを理解する。	オンライン(同時双方向型)			フロンティア医科学学位プログラム(修士課程)

専門基礎科目(フロンティア医科学関連科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATGC32	人体病理学概論	1	2.0	1	春AB	水5,6	4F204	松原 大祐, 柴 綾, 高屋敷 典生, 松岡 亮太	目標: ヒトの代表的な病気の概念と発病のメカニズムの基本を理解する。ヒトの病気の種類とそれぞれの成り立ちの概略を説明できる。	英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)			フロンティア医科学学位プログラム(修士課程)
OATGC34	内科学概論	1	2.0	1	秋AB	水7, 木6	4F204	山縣 邦弘, 川上 康, 齊木 臣二, 島野 仁, 高田 英俊, 土屋 輝一郎, 檜澤 伸之, 五十嵐 都, 大戸 達之, 齋藤 知栄, 坂田(柳元) 麻実子, 錦井 秀和, 宮園 弥生, 村越 伸行, 藤本 拓木, 近藤 裕也, 長谷川 直之	内科学、小児科学の概要について、特に成人、小児の基本的疾患について疾患概念、発症機序、診断、治療の概要について学ぶ。 目標: 成人、小児の基本的疾患についてさまざまな観点から論じることができる。	対面			フロンティア医科学学位プログラム(修士課程)
OATGC35	外科学概論	1	1.0	1	秋AB	木5	4F204	佐藤 幸夫, 井上 貴昭, 田淵 経司, 増本 幸二, 石川 栄一, 猪股 伸一, 橋本 真治, 三島 初, 鎌田 浩史	外科学の概要を、各科の基本的疾患を中心にこれらの疾患概念、疫学、発症機序、診断、治療の進歩について学ぶ。 目標: 外科学の今日的課題をさまざまな観点から論じることができる。	オンライン(対面併用型)			フロンティア医科学学位プログラム(修士課程)
OATGC36	ライフサイエンスにおける病態生化学	1	2.0	1	秋AB	水3,4	4F204	島野 仁, 矢藤 繁, 鈴木 浩明, 関谷 元博, 宮本 崇史, 大崎 芳典, 富所 康志, 武内 憲	代表的疾患のアップデートなトピックスを含め、病因、病態、診断、治療について、分子レベルあるいは遺伝子レベルまでほり上げて生化学的観点から学習する。特に生体内の代謝内分分泌制御において重要な働きをもつホルモンやシグナル分子について理解を深め、生命科学研究に必要な様々な生理と病態の理念を学ぶ。 目標: 臓器や領域を越えたサイエンスに果たしてもらいたい。生化学の今日的課題をさまざまな観点から論じることができる。	対面			フロンティア医科学学位プログラム(修士課程)
OATGC37	臨床検査総論	1	1.0	1・2	秋AB	金3	4F204	川上 康, 竹越 一博, 鈴木 広道, 石津 智子, 加藤 康, 武内 謙憲	最新の臨床検査医学に関連する項目を学び、臨床検査が医療と密接に関連することを理解する。 目標: 臨床検査の今日的課題をさまざまな観点から論じることができる。	対面(オンライン併用型)			フロンティア医科学学位プログラム(修士課程)



科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATGC38	English Discussion and Presentation on Medical Sciences I	2	2.0	1・2	春AB	金1,2		入江 賢児, 水野 智亮, 須田 恭之	テレビ会議システムを使った国立台湾大学、京都大学との交流授業(分子細胞生物学に関する英語による講義と討論、英語による論文紹介と討論)を通して、生命科学の知識、および英語によるサイエンスコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につける。Iでは、分子細胞生物学をトピックとする。 (1)タンパク質の立体配座、ダイナミクス、酵素素子、(2)転写、(3)遺伝子発現における転写後調節、(4)遺伝子発現の制御動物における sma11 RNA を介した遺伝子サイレンシング、(5)シグナル伝達、(6)細胞応答と環境要因への適応(1)―酸素、(7)細胞の反応と環境要因への適応(11)―発生、(8)細胞の反応と環境要因への適応(111)―細胞の移動、(9)細胞応答と環境要因への適応(1V)―細胞死、(10)細胞間コミュニケーションを解析するための先端技術、(11)学生による論文発表I、(12)学生による論文発表II	英語で授業。 対面(オンライン併用型)			フロンティア医学学位プログラム(修士課程)
OATGC39	English Discussion and Presentation on Medical Sciences II	2	2.0	1・2	秋AB	水1,2		入江 賢児, 川口 敬史, 高橋 智, 船越 祐司, 水野 智亮, 須田 恭之	テレビ会議システムを使った国立台湾大学、京都大学との交流授業(分子細胞生物学に関する英語による講義と討論、英語による論文紹介と討論)を通して、生命科学の知識、および英語によるサイエンスコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を身につける。IIでは、がん生物学をトピックとする。 (1)がん生物学、(2)RNA制御とその癌との関係、(3)腫瘍ウイルス学、(4)テロメア生物学、(5)ゲノム不安定性のメカニズムとその癌との関連性、(6)がんのエピジェネティクス、(7)癌はどのように成長しますか?、(8)腫瘍の微小環境、(9)癌細胞におけるシグナル伝達、(10)がんゲノミクス、(11)癌研究における動物モデル	OAVC201と同一。 英語で授業。 対面(オンライン併用型)			フロンティア医学学位プログラム(修士課程)
OATGC41	神経科学特論	1	1.0	1・2	春A	火・木7		柳沢 正史, 櫻井 武, 阿部 高志, 坂口 昌徳, Lazarus Michael, 櫻井 謙康, 戸田 浩史, 平野 有沙, 本城 咲季子, Vogt Kaspar	神経科学分野において重要な論文を読み、内容を深く理解することで、基礎から応用までの幅広い知識を養う。授業はオムニバス形式で、計11回行う。授業では、ハエ・マウス・ヒトといった様々な動物における、分子・細胞・神経回路・行動といった幅広いトピックを扱う。 目標:原著論文を読みこなし、トピックについて論じることができる。さらに、英語によるプレゼンテーション能力が向上し、自分自身の研究分野においても英語で議論ができる。	英語で授業。 対面			フロンティア医学学位プログラム(修士課程)

専門科目(フロンティア医学関連科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATGE49	腫瘍学	1	2.0	1	秋AB	月・火4	4F204	松原 大祐, 加藤 光保, 櫻井 英幸, 関根 郁夫, 千葉 滋, 中島 崇仁, 久武 幸司, 増本 幸二, 柴 綾, 高屋敷 典生, 神鳥 周也, 加藤 広介, 木村 健一, 船越 祐司, 渡邊 幸秀	悪性腫瘍の定義、病因、進展のメカニズムを学ぶ。 目標:悪性腫瘍の診断、治療の基盤も理解する。腫瘍の病因、悪性化の機構、および診断治療の基本を説明できる。	英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)			フロンティア医学学位プログラム(修士課程)
OATGE52	ゲノム医学概論	1	2.0	1・2	秋AB	火5,6	4F204	野口 恵美子, 関根 郁夫, 竹越 一博, 本間 真人, 村谷 匡史, 森川 一也, 福島 紘子, 宮寺 浩子	ゲノム科学の基本原則とその医学への応用方法を修得する。 目標:ゲノム解析研究、診断・治療におけるゲノム診断とゲノム情報の臨床応用について、方法と課題を論じることができる。	英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)			フロンティア医学学位プログラム(修士課程)
OATGE53	医工学概論	1	1.0	1	春AB	火2	4F204	三好 浩裕, 長崎 幸夫, 大川 敬子	疾病の診断と治療に広く用いられている医用電子機器、生体情報計測装置、治療用医用機器及び人工臓器の基礎理論と臨床応用の実際を学ぶ。また、血液循環系を対象として、力学的特性やバイオメカニクスの概念についても学習する。 目標:医療機器のしくみと課題、あるいは生体の特性について、工学的な観点から論じることができる。	日本語が理解できる学生に限る。 対面(オンライン併用型)			フロンティア医学学位プログラム(修士課程)
OATGE58	橋渡し研究概論	1	2.0	1	秋AB	月6,7	4F204	橋本 幸一, 村谷 匡史, 町野 毅, 山田 武史, 丸島 愛樹	医薬品や医療機器(治療器具、医用材料、治療・診断装置など)等の開発・応用において科学技術的シーズが如何にして臨床現場におけるニーズに結びつけられているかの全体プロセスを理解する。併せてそのプロセスの効率的な運用のために必要な各種の先進的技術、経済的要素、各種規制・手続き、人材等について理解する。 1. 医薬品や治療器具、医用材料の開発や治療・診断装置の開発プロセスについて説明できる。 2. 安全性・有効性の科学的実証研究(前臨床研究、臨床研究(治験))の重要性について説明できる。 3. 医薬品・医療機器開発の置かれている社会的状況、開発に関わる関係者・関係機関につき説明できる。 4. 医薬品や治療器具、医用材料の開発や治療・診断装置の開発プロセスにおいて用いられる技術、知的財産確保の重要性について説明できる。	OAVC205と同一。 英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)			フロンティア医学学位プログラム(修士課程)
OATGE63	医薬品・医療機器レギュラトリーサイエンス	1	1.0	1	秋C	応談		橋本 幸一, 山田 雅信	目標:医薬品、医療機器、再生医療製品等の医薬品医療機器等法による規制と承認審査について体系的に理解する。医薬品医療機器等法による医薬品等の規制、承認制度、安全対策について説明できる。 1. 日本の薬事制度について説明できる。 2. 医薬品副作用被害救済制度について説明できる。	オンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)			フロンティア医学学位プログラム(修士課程)

公衆衛生学学位プログラム(修士課程)

基礎科目(学術院共通専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OAS0507	社会医学概論		1	2.0	1	春AB	木1,2	市川 政雄, 近藤正英, 五所 正彦, 田宮 菜奈子, 山岸良匡, 我妻 ゆき子, 笹原 信一郎, 森田 展彰, 大谷 保和, 菅野 幸子, Togoobaatar Ganchimeg, 福重瑞穂, 堀 愛, 岩上 将夫, 高橋 晶, 高橋 司	人びとの健康に寄与する要因が多岐にわたること、人びとの健康を増進するには学際的な取り組みが欠かせないことを理解するとともに、社会医学の今日的課題をさまざまな観点から論じることができるようになることを目標とする。	英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)			公衆衛生学学位プログラム(修士課程)

基礎科目(公衆衛生学関連科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATHA11	疫学概論		1	1.0	1	春AB	火3	4F204	我妻 ゆき子	健康ないし疾病の要因について人間集団を対象にして宿主(host)、病因(agent)、環境(Environment)の各面から包括的に究明し、法則性を見いだす疫学の原理について学ぶ。 目標: 初歩的な研究デザインについて概観し、人間集団を対象とした研究を行う際の研究実施計画の重要性を理解する。疫学の基本を理解し、その基本的手法と用法について説明することができる。	英語で授業。 対面		公衆衛生学学位プログラム(修士課程)
OATHA12	医生物統計学概論		1	1.0	1	春AB	水3	4F204	五所 正彦, 丸尾 和司, 石井 亮太	医学領域における統計学的アプローチの具体的方法について学ぶ。検定、推定、相関、回帰、分散分析、多変量解析、生存時間分析など、特に応用の広い重要な手法を理解し、正しく手法を用いるための基礎を学ぶ。	英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)		公衆衛生学学位プログラム(修士課程)
OATHA13	医生物統計学実習		3	1.0	1	春AB	水5,6	4F305	丸尾 和司, 五所 正彦, 石井 亮太	統計解析ソフトウェア SAS OnDemand for Academics を用いて、医学データ解析に用いられる統計手法の実際を学ぶ。	英語で授業。		公衆衛生学学位プログラム(修士課程)
OATHA15	疫学・生物統計学セミナー		2	2.0	1	通年	火6		我妻 ゆき子, 五所 正彦, 岩上 将夫	疫学や生物統計学に関する講義の補完として、関連する教科書を読み、原著論文を担当決めて紹介し、セミナー形式にてディスカッションすることで学習効果を高める。 目標: 疫学や生物統計学の手法やその応用についてさまざまな観点から論じることができる。	英語で授業。 対面(オンライン併用型)		公衆衛生学学位プログラム(修士課程)
OATHA16	量的研究の批判的評価法		1	1.0	1	春C	金3,4	4F204	Togoobaatar Ganchimeg	この科目では、科学論文において使用された手法や解析について、クリティカル・アプレイザルを行う機会を提供する。それぞれの専門領域におけるクリティカル・アプレイザルのフレームワークを応用して、エビデンスに基づく実践について議論を行う。	英語で授業。		公衆衛生学学位プログラム(修士課程)
OATHA17	システマティックレビュー・メタアナリシス入門		1	2.0	1	秋AB	月2,3	4F305	Togoobaatar Ganchimeg	システマティックレビューやメタ解析は、エビデンスに基づく臨床や公衆衛生実施を含め、意思決定のために大変有用な手法である。この科目では、システマティックレビューに関する詳しい説明を段階を踏んで行う。また、その強みや限界についても討議する。レビュークエスチョンの作成、文献検索、研究の質の評価、データ抽出、メタ解析手法や報告書作成についてを学べる。RevMan統計ソフトを利用し、PubMedによるレビューやメタ解析演習を行う。	英語で授業。		公衆衛生学学位プログラム(修士課程)

専門科目(公衆衛生学関連科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設
OATHE21	健康行動科学論		1	1.0	1・2	秋AB	水3	4E608	笹原 信一郎, 斎藤環, 松崎 一葉, 森田 展彰, 大井 雄一, 大谷 保和, 道喜 将太郎, 新田 千枝, 堀 大介, 高橋 司	目標: ヘルスプロモーションの概念および保健行動の変容の理論と方法を環境ストレス各分野での実例を通して理解する。保健行動の変容について様々な観点から論じることができる。	英語で授業。 ※対面で行うが、講義内容はオンライン(オンデマンド型)で配信も行う。また感染状況に応じて全てオンラインに変更もありうる。		公衆衛生学学位プログラム(修士課程)
OATHE22	保健医療政策学		1	1.0	1・2	秋AB	木3	4F204	近藤 正英	1. 保健医療政策論の基礎を学び世界の保健システムの課題を学ぶ。 2. わが国の保健医療制度の現状と課題を学ぶ。 目標: 保健医療システムについて、基礎的な理論を踏まえたうえで、保健医療政策的な視点から論じることができる。 (1) 健康、保健医療、政策について解説する。 (2) 健康の決定要因と政策について解説する。 (3) 国家の役割と保健システムについて解説する。 (4) 日本の医療提供制度について解説する。 (5) 日本の医療保障制度について解説する。 (6) 保健医療政策学の実践について解説する。 (7) グローバルヘルスポリシーについて解説する。 (8) 保健医療政策過程論について解説する。 (9) 保健医療計画論について解説する。 (10) 健康政策、保健医療政策の広がりについて解説する。	(英) OAVC206と同一 OAVC206と同一。 英語で授業。 対面		公衆衛生学学位プログラム(修士課程)
OATHE23	医療管理学		1	1.0	1・2	秋AB	木4	4F204	田宮 菜奈子, 杉山 雄大, 岩上 将夫, 渡邊 多永子	1. わが国の保健医療介護サービスの管理に必要な制度を学ぶ。 2. わが国の保健医療介護サービスのサービスの実態を学ぶ。 3. 保健医療介護 サービス管理の視点からヘルスサービサーチを学ぶ。 目標: 保健医療介護サービスの制度とその現場での管理について、基礎的な理論を踏まえたうえで、ヘルスサービサーチの視点から論じることができる。	英語で授業。 対面(オンライン併用型)		公衆衛生学学位プログラム(修士課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	科目等履修生申請可否	申請条件	開設	
OATHE24	医療経済学		1	1.0	1・2	秋C	集中	4F204	近藤 正英	医療経済学の基礎として、ミクロ経済学や厚生経済学の健康への応用を解説する。 目標:保健医療システムをサービスの市場としての理解できる。保健医療サービスの経済評価を吟味できる。  (1) 保健医療とお金・景気について解説する。 (2) 医療保険の経済学について解説する。(3) 需要の法則について解説する。(4) 生産理論について解説する。(5) 市場メカニズムについて解説する。(6) 医療供給者の行動について解説する。(7) 厚生経済学入門について解説する。 (8) 保健医療サービスの経済評価について解説する。(9) 公平性・正義と公正について解説する。(10) 総合討論を行う。 As a foundation of health economics, application of microeconomics, welfare economics, and new institutional economics in health care are explained. Goal: To be able to view the health system as a market for health care. To be able to appraise economic evaluations. (1) Introduction: health care, money and economic growth, (2) Microeconomics of health insurance, (3) Law of demand, (4) Theory of production, (5) Market mechanism, (6) Behaviour of health care provider, (7) Basics of welfare economics, (8) Economic evaluation of health care programme, (9) Equity: justice and fairness, (10) Overall discussion.	(英) 01D2512と同一。 英語で授業。 対面 すべて1・2限に実施			公衆衛生学学位プログラム(修士課程)
OATHE25	ヘルスサービスリサーチ概論		1	1.0	1・2	春AB	木4	4F305	田宮 菜奈子, 杉山 雄大, 岩上 将夫, 渡邊 多永子	本講義では、保健医療福祉分野の各職種において、自らのサービス(病院だけでなく、施設ケア、在宅ケアも含む)の質を科学的に評価・分析し、日常業務に還元し、さらには学術論文に発展させる方法の初歩を取得することを目的とする。 目標:保健医療福祉サービスに関する今日的課題をヘルスサービスリサーチの視点から論じることができる。	01D2510と同一。 英語で授業。 対面(オンライン併用型)			公衆衛生学学位プログラム(修士課程)
OATHF31	疫学特論		1	2.0	1・2	秋AB	火3,4	4F305	我妻 ゆき子, 岩上 将夫	疫学の原理と応用について学ぶ。情報科学や統計科学を用いて行われる疫学研究や臨床研究への応用についても学び、EBM(Evidence-Based Medicine)の研究に役立たせる。また、疫学的手法を用いた演習を実施し、疫学の実際を理解する。 目標:疫学研究の目的、方法、解析結果とその意義について説明できる。	英語で授業。 対面			公衆衛生学学位プログラム(修士課程)
OATHF32	臨床試験論		1	1.0	1・2	秋AB	火7,8	4F204	我妻 ゆき子, 五所 正彦	臨床試験は病気に対する新しい治療法や薬の安全性・有効性を検証するために行われる、ヒトを対象とした医学研究である。臨床試験は厳密な科学性と倫理性を兼ね備える必要があるため、GCP(Good Clinical Practice)と呼ばれる基準に則って実施される。本講義ではGCPに沿って臨床試験のデザインから実行までを概観する。 目標: 1. GCPに準拠した臨床試験の実施ステップについて説明できる。 2. 臨床試験に関する倫理指針を理解し、適切な研究デザインを企画し、実施するための研究プロトコールを作成できる。 3. 臨床試験の実際に関する内容を理解し、その意義と欠点を理解し、その向上のためになる質問や討論することができる。	英語で授業。 対面(オンライン併用型)			公衆衛生学学位プログラム(修士課程)
OATHF33	ヘルスプロモーション		1	1.0	1・2	秋AB	火2	4F305	安梅 勲江	ヘルスプロモーション、アドボカシー、コミュニケーション、エンパワメントの理論と実践について、多面的な研究成果を活用し取得することを目的とする。 目標:ヘルスプロモーションの今日的課題をさまざまな観点から論じることができる。  (1) ヘルスプロモーション国際動向、(2) ヘルスプロモーション理論、(3) ヘルスプロモーション方法、(4) ヘルスプロモーション技術、(5) エンパワメント理論、(6) エンパワメント技術、(7) ヘルスプロモーションとアドボカシー、(8) ヘルスプロモーションとコミュニケーション、(9) ヘルスプロモーション演習1、(10) ヘルスプロモーション演習2	英語で授業。 オンライン(同時双方向型)			公衆衛生学学位プログラム(修士課程)
OATHF34	環境保健学		1	1.0	1・2	春AB	月4		キム セツピョル エステラ	保健学的方法論の一つである環境疫学の基礎を理解し、気候変動の健康影響など、環境疫学に関する多様な問題群に関する知識を得る。	英語で授業 英語で授業。 オンライン(同時双方向型)			公衆衛生学学位プログラム(修士課程)
OATHF36	精神保健学		1	1.0	1・2	春AB	月5	4F305	齋藤 環, 森田 展彰, 大谷 保和, 新田 千枝	目標:精神健康の問題を持つ人の評価と援助における基本的な概念、手法および社会的なシステムを理解できる。 1. ストレスのメカニズムや評価について、説明できる。 2. 心理学的な発達や危機について説明できる。 3. メンタルヘルスクアを行う方法について説明できる。 4. 精神障害を持つ人の現状や援助システムについて説明できる。	英語で授業。 対面			公衆衛生学学位プログラム(修士課程)
OATHF38	産業保健学		1	1.0	1	春AB	水4		堀 愛	このコースは、労働衛生と環境衛生の理解を身につけることを目的としている。	英語で授業。 オンライン(対面併用型)			公衆衛生学学位プログラム(修士課程)